

細菌検査室

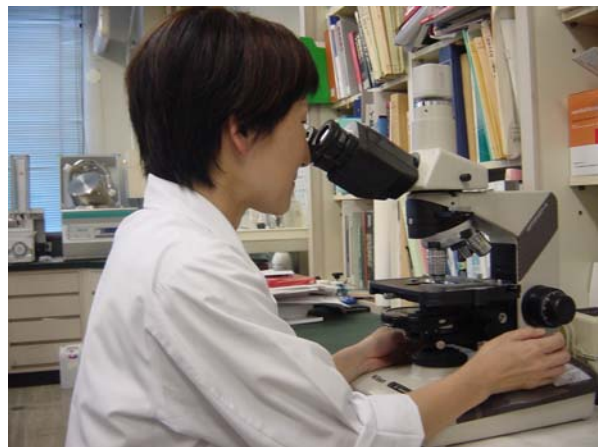


細菌検査室って、何をしているの？

肺炎や腸炎など、微生物によって引き起こされる病
気の原因を探します。



増えた細菌を試験管に移しています



細菌を染色して顕微鏡でみています

たとえば・・・

☆のどの痛みや咳、鼻水がたくさん出るお子さんの場合☆

のどや鼻の奥を清潔な綿棒でふき取って、アデノウイルスやRSウイルスやインフルエンザウイルスがないか、また肺炎球菌やインフルエンザ菌などの細菌が増えていないかを調べます。



☆お腹が痛いとき、下痢のお子さんの場合☆

便の中にロタウイルスやアデノウイルスがないか、また赤痢菌やサルモネラ菌、カンピロバクターや腸管出血性大腸菌O157などの食中毒菌がないかを調べます。

☆その他、こんなときにも・・・☆

中耳炎になったとき、虫垂炎で手術をしたとき、傷が化膿していると思われるとき、膀胱炎になったとき・・・等、炎症の原因となる細菌がないかを調べます。

どの場合でも、原因が細菌とわかった場合には、何のお薬が効くかも調べて治療に役立てます。

また、手術の後や他の病気が原因で抵抗力が落ちているお子さんの場合には、普段は無害な細菌でも症状が悪化することがありますので、定期的に細菌検査をします。

☆2009年1月～6月 ウイルス検査検出数☆

月	1	2	3	4	5	6
インフルエンザ A	30	19	3	1	0	18
インフルエンザ B	2	3	14	7	4	1
アデノ	4	1	2	10	12	11
RS	13	12	5	14	3	3
ロタ	3	10	22	15	4	1

☆ ICT 活動 ☆

(Infection Control Team)

病院内すべての感染対策を多職種で行うチームです。医師・看護師・臨床検査技師・薬剤師・事務で構成されます。

① 院内の感染を予防します。(感染管理)

院内の感染に対して、予防対策を図っています。例えば、院内の環境の管理や教育指導などを行っています。

② 院内の感染状況を監視します。(感染制御)

院内でおこる各種感染の発生をいち早く把握し、適切な措置を取ることで施設内での伝播を防ぎます。

皆さまに安心して治療を受けていただけるよう、職員が安心して働けるよう活動しています。



私たちが担当していまーす！！